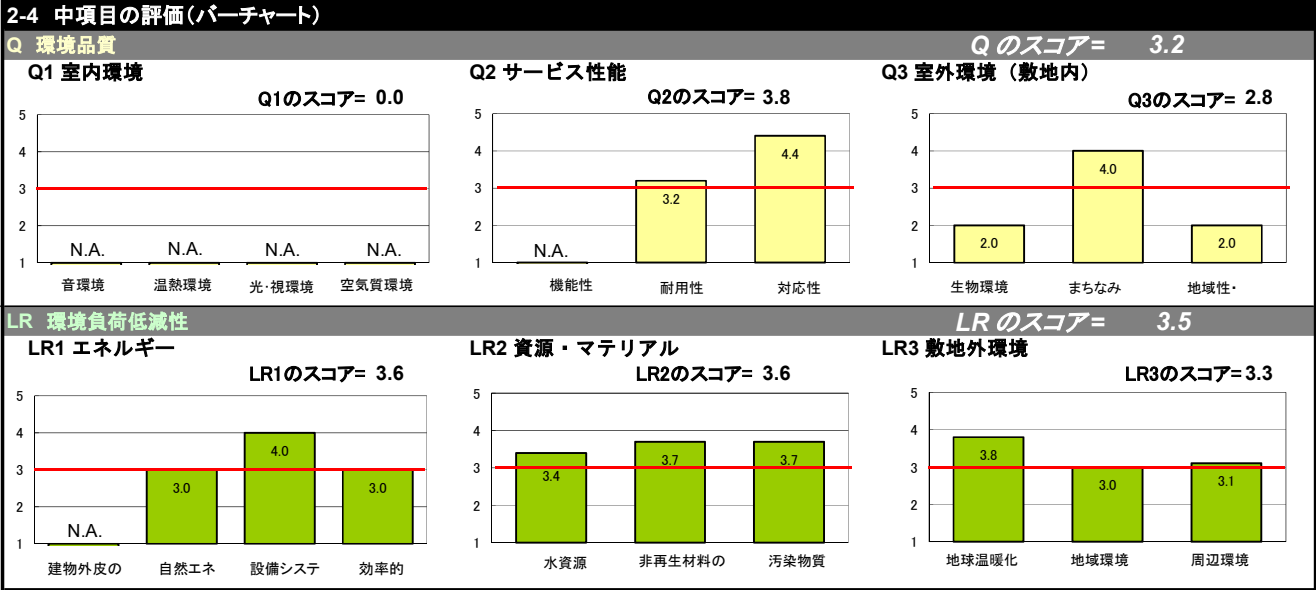
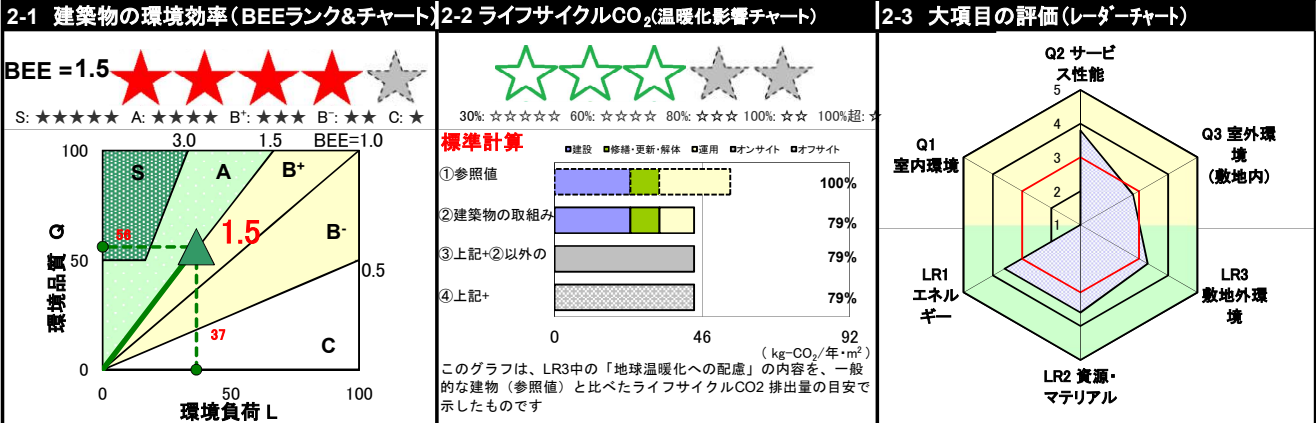


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)静岡掛川物流施設計画	階数	地上4F
建設地	静岡県掛川市	構造	SRC造
用途地域	工業地域、22条地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年10月24日
敷地面積	24,210 m ²	作成者	イズミコンサルティング
建築面積	13,973 m ²	確認日	2024年10月24日
延床面積	52,570 m ²	確認者	鈴木建設一級建築士事務所 伊藤政幸



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性の確認が可能である。	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	・高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される